

委員からの御意見・御提言

(岩手県次期総合計画 第1期アクションプラン-地域振興プラン(仮称)-(県央広域振興圏)(中間案)について)

(委員五十音順)

	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
1	工藤 朋委員	1-1. (保健福祉)について アルコール健康障害に関する問題が心の健康づくりに含まれているが、体の健康づくりにおいても取り組まれるべき内容でもある。今年度より岩手県アルコール健康障害対策推進計画が策定されたので、その点にも触れていただきたい。	保健福祉環境部
2		6. 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興について 県内の連携には大変関心を持っている。弊社も様々な機会を活用して技術開発に取り組んでいるところである。人材に関しては地域の中小企業は県内大学生にとって就職先とはみられてはいない一方で、地域の中小企業においても大卒以上の人材が活躍しているという現状が認識されていない点に課題がある。そのギャップを埋めるのに必要なのは我々企業側の努力だと思うが、学生と企業をつなぐお力添えを県にさせていただけたら助かる。	経営企画部
3		7-2. 食産業について 岩手県では食産業の振興に力を入れてくださっていて感謝申し上げる。特にも物流支援については心から期待している。 また、岩手県産株式会社がより商社的な機能を持っていたらと、大きな助けになる。	経営企画部
4		7-2. 食産業について 現段階ではすぐに商売につながらない地域への情報発信を行い、岩手県の良いイメージを醸成していくことも大切ではないかと考えている。 例えば県の欧州向けへの取り組みについては、マーケットとしてはまだまだ可能性という段階の地域ではあるが、そのために自治体レベルで取り組んでいる県が少ないようだ。ここに岩手県の食材が先行して入り込むことによって日本の「岩手」というイメージを定着させることができるかと思う。 すべての地域を網羅することは難しいと思うが、将来の種まきとして、戦略的に情報発信力が期待できる特定の地域としっかり結びついていくべきだと思う。	経営企画部
5		10. 産業人材の育成について 地域の食産業を盛り上げるのに、大切なのはレストランとそこで働く料理人ではないかと思っている。 県内の教育機関で、食産業を盛り上げるためにこうした人材を育成することはできないのか？岩手大学農学部獣医学科は全国から学生が集まってくる。食材豊かな岩手に、調理やサービスの技術を学びに来るような環境ができると、岩手県の食産業にとって追い風になると思う。 既存の教育機関を連携させて、食材のことから、調理、経営などについて学ぶことができる教育プログラムの設置はできないのか？	経営企画部
6		11. 交通ネットワークについて 自動運転のための試験に取り組むことはできないか？ 将来的には観光に求められる二次交通や高齢者交通手段の課題も自動運転技術を活用したバスの運行等によって解決されるであろうことが予想される。 できるだけ早くその時代が岩手にも訪れるような政策を期待する。	経営企画部

	委員氏名	御意見・御提言	回答担当
7		スポーツ振興について 県民のスポーツに対する関心を高めるために、するスポーツの前に、観戦・応援するスポーツを入り口にしてみても良いのではないかと。特に、プロスポーツチームと連携することで、県民の連帯感の醸成や地域経済の活性化にも繋がると思う。	経営企画部
8	平野 順子委員	定住人口の増加、人材確保に向けて 県内でも売り手市場に変わり十分に雇用先は確保できていますが、県内にもどのような企業があるかという認知や、岩手で暮らすことの魅力の浸透が弱いと感じている。企業側にも負担がかかると思うが、マッチングの観点からもやはり体験型の周知活動が効果あると思うので、そこに特に力を入れていただきたい。また、厚生労働省主催の就職ガイダンスは全国一律のプログラムになっていて、必ずしも現在の県内の就職環境にマッチしていない部分もある。対象者に合わせた県独自のプログラムを多く実施するほうがよいと思う。	経営企画部
9	水本 千恵子委員	P20③地域コミュニティ活動の活性化 について 地域づくりに地域おこし協力隊を巻き込む仕組みは有効と考えるが、協力隊と集落支援員(またはそれに類似する地域住民)と一緒に活動していくことで、協力隊の不安に寄り添えたり、地域づくりの幅が広がると全国の研修に参加した際に聞いた。それと協力隊の定住率を上げ、任期後の支援体制を整えていくことで、地域コミュニティにとって必要な人材に育っていくと思う。 「小さな拠点づくり」については、地区住民に自立した考え方ができるための研修や実践の場を行政も積極的に提供することによって人材が育成されていくと考える。 既存の組織が担い手不足になり活動がカタチだけになっている現状もある。今一度、活動の目的や今の時代背景に合っているのか検証(棚卸し)し、事業の見直しや団体同士の連携などを第三者的立場の介入が必要ではないか。	経営企画部
10		2. 環境保全について プラスチックゴミが世界的にも問題にされているので、特に力を入れて取り組む必要があると思うが、何か考えているか。	保健福祉環境部
11	八重畑 祐見子委員	9. 林業について 盛岡地域では「炭作り」に取り組んでいる人はいないのか。	林務部
12		熊やシカの被害について、どのような対策をされているか。	保健福祉環境部 農政部

※ いただいたご意見等は、口調を揃えるなど、一部手を加えさせていただいております。